

現場からのリアルな声

支援員・江藤さんにインタビュー

定着後も継続して“支える”存在に

古賀さんは勤続10年。すでに定着しており、異動してきた精肉部門のチーフから「私の方が色々教えてもらっています」と言われるほど高く評価されているため、今は必要に応じて困りごとや希望を聞く程度です。最近では「就労時間を延長したい」と要望があり、店長にご相談しまし



株式会社マルミヤストア
管理本部 人事部 採用教育課長
田原 敦さん

▲(左)古賀義崇さん、(右)なかぼつ・主任就業支援ワーカー 江藤大慈さん「一番のやりがいはお客様の笑顔。一度いっつも新鮮なものをおりなり」と言われたことが心に残っています。10年目になり、パートさんに教えてあげることも増えました。不安なことはじゃんぶさんに相談できるので心強いです。

た。体調面をご心配いただき、まずは1ヶ月のお試しからスタートしましたが、「お金を貯めて一人暮らしをしたい」「ゲーム機を買いたい」と半年経った今も8:00~16:00のフルタイムで頑張っています。一般就労には本人の努力も欠かせません。支援員は信頼関係を築き、状況を見極めながら“手助けしすぎないこと”も大切です。すべてやってしまうと成長できませんから。状況を見極めるためにも、企業の皆さんにも何でも相談してほしいと思っています。

田原さん(以下、田)：私たちは九州5県で食品スーパーマーケットのマルミヤストアと新鮮市場、ディスカウトストアのアタックスを運営しています。2023年に子会社であった新鮮市場、アタックスをマルミヤストアに統合し、より密に連携・協業できるようにしました。障がい者雇用においても情報を共有しやすくなったと感じています。

伊達さん(以下、伊)：現在、全体で60名の障がい者スタッフが働いているんですよ。

田)：はい。じゃんぶさんなど、なかぼつから紹介されるケースと、支援学校から実習を経て入社するケースの大きく2パターンありますが、支援学校経由でも最終的に必ずなかぼつに登録してもらいます。就業、生活両面のサポートは心強いですから。

伊)：入社後のミスマッチを減らすには、支援機関と連携しながら相談、見学、職場体験と段階を踏んでいくことが大切だと思います。特に雇用前に実際に職場を体験してもらい、能力や仕事との相性を見極めることが重要です。



田)：今ではチーフに頼らず、自分で考えて日々の業務を組み立てています。精肉の加工から味付け、パック詰め、品出しまで幅広くこなす頼れる存在です。私たちは障がいのある方に特別なルールや制限を設けるのではなく、その

方に向った業務・環境の中で成長して、その幅を広げてもらいたいと思っています。「可能性を制限しない」と言えはいいでしょうか。基本はパート採用ですが、成長に応じて社員へのステップアップも考えています。

伊)：実は障がい特性によつて集中力が高い、一度覚えたことを忘れにくいなど、特化した能力を持っている人も多いいです。そこを見極めれば、十分な戦力として活躍してくれるはずですよ。

企業 × なかぼつ

採用前から入社後まで。支援機関と進める障がい者雇用

障がい者雇用は、採用して終わりではありません。入社後のミスマッチや現場の戸惑いを解消し、安定した定着につなげるためには、「相談→見学→職場体験→採用→定着支援」と、支援機関と連携しながら段階的に進めることが効果的です。

今回は、障害者就業・生活支援センター(以下、なかぼつ)や支援学校と連携し、継続的な障がい者雇用を行う株式会社マルミヤストアの取り組みを例に、マルミヤストアの田原さん、なかぼつ伊達さんに連携を成功に導く考え方や進め方を伺いました。

障害者就業・生活支援センターとは

県内6か所に設置された支援機関。通称なかぼつ。障がい者の職業生活における自立を図るため、さまざまな関係機関と連携しながら就業面及び生活面における一体的な支援を行っている。

支援機関との連携が成功の鍵

田原さん(以下、田)：私たちは九州5県で食品スーパーマーケットのマルミヤストアと新鮮市場、ディスカウトストアのアタックスを運営しています。2023年に子会社であった新鮮市場、アタックスをマルミヤストアに統合し、より密に連携・協業できるようにしました。障がい者雇用においても情報を共有しやすくなったと感じています。

田)：そうですね。実習・その後の振り返りを経て、本人のできること、苦手なことや、店長の困りごとが明確になると、その後かこも進めやすくなります。

就職後も寄り添う定着支援

田)：私は特に入社直後が非常に重要な時期だと感じています。短期間の職場体験では分からなかった相性や注意点が見えてきますから。その期間を「定着支援」という形で支えてもらえるのは本当ありがたいです。

伊)：定着支援は最大3年ですが、なかぼつは総合的な相談窓口です。何かあればいつでも相談してもらえたらと思っています。障がい者の方が入社する前にお渡しする障がい特性や気をつける点を記載したフロイール票も活用していますか？

田)：はい。現場理解を深めるうえでとても役立っています。事前にフロイール票をもとに具体的な情報を共有できるため、入社後の齟齬が起きにくくなります。

制限しないことが、成長につながる

田)：障がい者スタッフの業務はさまざまです。障がい種別(知的・精神・身体)や職